



| | |
|--|--|
| 社会福祉法人 恩賜財団 済生会 済生会熊本福祉センター | |
| 障害者多機能型事業所 就労継続支援A型・B型 就労移行支援 済生会かがやき | 保育所 済生会しらふじ保育園 児童発達支援センター 済生会なでしこ園 |
| 障害者多機能型事業所 就労継続支援B型 生活介護 済生会ほほえみ | 共同生活援助事業 済生会グループホーム事業所 相談支援事業 済生会熊本福祉相談支援センター |
| 障害者多機能型事業所 就労継続支援A型・B型 済生会ウイズ | 障害児相談支援事業 済生会なでしこ園相談支援事業所 |

こんにちは!! 済生会熊本福祉センターです。
 私達の福祉センターは、保育園、児童発達支援センター、
 障がい福祉サービス事業所で構成されています。
 園児・利用者・従業員・職員総勢約400名が毎日『すまいるん』で頑張っています!!

済生会熊本福祉センターの理念及び基本方針
理念 一人ひとりを尊重し、共に生きる社会の実現をめざします。
基本方針 ・ライフステージに応じた自立を支援します。
 ・専門性と施設の機能を活かし、地域社会に貢献します。
 ・利用者主体の福祉を実践します。

福祉センター 2014年度事業計画

1 2013年度の取り組み実績

(1) 経営基盤の安定

- ①特別支援学校への働きかけ等により、定員充足率と利用率の向上に努めた。
- ②就労支援事業では、オリジナル商品の開発(パン工房ギフトセットなど)、カット野菜の新規受注等により収益の維持に努めた。

(2) 福祉サービスの質の向上

- ①老朽化したグループホームへの対応
10月「あじさいホーム」閉鎖、「さいせい東2番館」(定員5名・借家)を開設
- ②各施設の利用者満足度調査の実施と、熊本市で新設された自己評価の実施
なでしこ園では福祉サービス第三者評価を2014年2月に受審済み。

(3) 地域社会・家族との連携

- ①福祉ネットワーク構築のための情報交換会の開催
利用者の高齢化に対応するため、地域の高齢者支援センターや福祉施設等の5施設に呼びかけ、情報交換会を開催した。
- ②家族会・保護者会と連携し夏祭り、運動会、ホームカミングデー等の行事を開催した。

2 2014年度事業計画

2014年度は、2004年4月にスタートした福祉センターにとって10年の節目の年となる。
 障害者福祉施策は2003年度利用者がサービスを選択できる支援費制度の施行に始まり、障害者自立支援法施行(2006年)、障害者総合支援法施行(2013年)へとめまぐるしく変化した。また、障がい者の権利擁護についても障害者虐待防止法、障害者差別解消法の成立と法整備が進み「障害者権利条約」も批准された。このような環境の中、福祉センターはその理念である共生社会の実現のため、2014年度は「初心、そして挑戦」をキーワードに原点を再確認し、さらに質の高い福祉サービスの向上に挑戦し地域社会に貢献していきたい。

(1) 経営基盤の安定

- ①各施設において**定員充足率と利用率の向上**に努め、福祉事業収入の安定的な経営基盤を維持する。しらふじ保育園においては0~1歳児の早期獲得と2015年度に始まる**新保育制度**への対応に努める。
- ②就労継続支援事業では**効率化と売上増強**により、雇用力拡大につなげる。
- ③**なでしこ園建替え計画**の実施など各施設における施設整備の計画的な推進を行う。

(2) 質の高い福祉サービスの提供

- ①熊本市で義務付けられた**自己評価**を着実に実施すると共に、**福祉サービス第三者評価**を各施設で来年度以降も順次受審する。
- ②職員の専門性を高め、支援・保育・療育の充実を図ることにより、本人・家族のニーズに対応した利用者主体の支援を強化する。
- ③就労継続支援事業における**工賃向上計画**の着実な推進、関係機関と連携した**一般就労への取組み**を強化する。
- ④障害者総合支援法で2014年4月から実施される、障害支援区分の創設とケアホームの**グループホーム一元化、サテライト型住居創設**への対応
- ⑤補助事業である相談支援事業公募化をにらみ、**相談支援センターの施設外設置**を検討
- ⑥**障がいのある刑余者等**、福祉サービスを必要とする人への積極的な対応
- ⑦施設での定期的な研修会やセルフチェックにより、障害者(児童)虐待防止法等の関係法令に対する**コンプライアンスの徹底**

(3) 地域社会・家族との連携

- ①利用者の高齢化対応として、地域の**高齢者施設等の社会資源活用**の検討を進める。
- ②地域行事への積極参加や、地域から施設行事への参加呼びかけ
・地域の清掃活動への参加(GH・かがやき・ほほえみ・ウイズ)

- ・園主催の障害関連勉強会への参加を地域に呼びかける(なでしこ園)
- ・天明市民の集いへの参加や内田夏祭り等、恒例行事の開催
- ③施設見学や実習、体験入所及びボランティアなどを積極的に受け入れる。
- ④地域家族との勉強会や施設合同研修会、講演会等の開催

済生会熊本福祉センター2014年度運営基本方針

キーワード **初心、そして挑戦** ~10周年を迎えて~

| | |
|-------------------|---|
| (1) 経営基盤の安定 | <ul style="list-style-type: none"> ・定員充足率及び利用率の向上 ・行政・学校・企業等の関係機関との連携強化 ・就労継続支援事業の収入増強 ・なでしこ園の建替え計画実行としらふじ保育園における新保育制度への取組み |
| (2) 質の高い福祉サービスの提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の専門性の向上による支援・保育・療育の充実 ・本人・家族のニーズに対応した利用者主体の支援強化 ・障害支援区分及びグループホーム一元化への対応 ・工賃向上と一般就労への取組み強化 ・自己評価及び福祉サービス第三者評価受審への取組み |
| (3) 地域社会・家族との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の高齢者に伴う社会資源の活用検討 ・イベント参加やホームページ活用による積極的な情報発信 ・施設見学や研修生・ボランティアの積極的な受け入れ ・地域・家族との勉強会や施設合同研修会、講演会の開催 ・エネルギー削減によるCO²削減等、社会的責任活動の推進 |

~福祉車両(送迎車)が3台お目見え~

多機能型事業所「済生会かがやき」「済生会ほほえみ」「済生会ウイズ」にそれぞれ利用者送迎車両としてホンダのステップワゴンが今年2月に3台納入がありました。

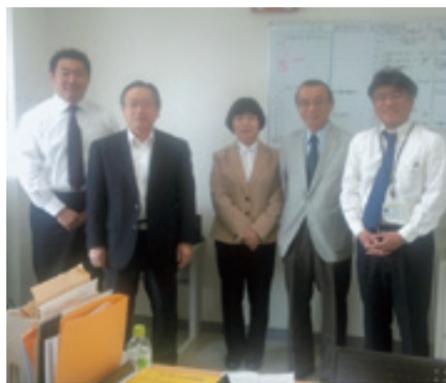
これは、2013年度日本財団・福祉車両助成事業として導入されたものです。いずれの車体も虹色を想わせる“ベネトンカラーのシェアマーク”が施され、その存在感は一目瞭然です。



乗り心地もバツグンで、毎日、利用者皆さんの足となって朝夕活躍しています。

乗り心地もバツグンで、毎日、利用者皆さんの足となって朝夕活躍しています。

地域生活定着支援センター開所



4月1日「地域生活定着支援センター」を県より受託しました。

定着支援センターの業務は、刑務所から出所される障がい・高齢といったハンディキャップを持った方々が、二度と再犯しないで地域での生活ができるよう福祉制度などの社会資源と結びつける仕事です。

また、日常生活の中での継続的な相談支援にもかかわらず、地域の理解も得られるように啓発活動も積極的に行っています。

4代目所長就任

2014年4月、当センターの所長に道端由美子が就任致しました。

3月までは済生会熊本病院の副院長・看護部長として手腕を振るわれ、早速、その経験をセンターの運営に活かされています。

また、清水谷憲二副所長(前所長)も新たな事業である地域生活定着支援センターのセンター長として、益々活躍されています。

今後共々よろしくお願い致します。



グループホームの事業所名が変わりました。

4月1日から、福祉センターのグループホーム・ケアホーム事業所は「済生会グループホーム事業所」へ名称を変更しました。

障害者総合支援法のグループホームとケアホームの一元化に伴い、介護が必要になっても、本人の希望によりグループホームを利用し続けることができるよう、柔軟なサービス提供ができるようになりました。

利用者の皆様への支援内容には変化はありません。

これからもよろしくお願いいたします!!



2013年度苦情要望受付状況

済生会ウイズ

件数 『13件』

要望 『施設内に掲示したある掲示物に関して、漢字が読めない人がおり内容の理解が出来ないのではないか。理解できるようにフリガナなどを付けてわかりやすくしてほしい。』という苦情が利用者よりありました。

対応 ・ 掲示してあるポスターや今後掲示するポスターにはフリガナを付ける。
・ ウイズ便りや活動案内にもフリガナを付けることとした。

済生会かがやき

件数 『9件』

要望 作業部署を変わりたい。(2件)
対応 2件とも、理由としては腰や足の痛みなどを訴え、身体的に現在の作業部署ではきついの事だった。本人の状態を優先に考え、それぞれで部署移動を行っている。

B型事業所では年齢制限はないものの、高齢化は進んでおり、このようなケースは今から沢山出てくると考えられる。その都度、ご家族の方にも相談しながら、対応していきたい。

済生会ほほえみ

件数 『16件』

要望 施設の敷地内を業者の車がスピードを出したまま走行しており、生活介護の利用者などは自分で安全配慮ができないため危険である。

対応 福祉センターより業者へ「施設敷地内は利用者の安全確保のため、決められた速度で走行して欲しい」とドライバーの方に注意を促してもらうよう連絡を入れる。

その後、施設内を業者の車が走行する際には、利用者に配慮したスピードと運転になった。

済生会グループホーム事業所

件数 『15件』

要望 利用者の姉より、食欲がないことがあるので、刻んだりやわらかくしたりして食べやすくして提供してほしいとの要望があった。

対応 世話人・支援員でメニューによって本人に希望を聞きながら対応した。生野菜は刻んだことで少し食べやすくなったようだが、最近本人がそのままが良いと言われるため、常食で提供している。

済生会なでしこ園

件数 『1件』

要望 直接迎えに来ている保護者が待たされている。待ち時間を短くしてほしい。

対応 直接お迎えの保護者へお伝えする内容を吟味、時間のかかる内容は別に時間をとり、スムーズにお子様をお返して、時間をとらないよう職員に徹底させる。

済生会しらふじ保育園

件数 『0件』



済生会なでしこ園 ソフトブロックで遊ぼう♪

子どもたちが大好きな活動のひとつ、遊戯室での大型遊具あそびで、ソフトブロックをアスレチックのように設定しました。坂やトンネルを登ったりくぐったりすることが嬉しくて、何度も挑戦したり、ボールプールにみんなで入ると、「お風呂みたい♪」とわくわくした表情の子どもたちです。子どもたちの笑顔がたくさん見られるような活動を、今後も考えていきたいと思ひます(*^_^*)



済生会しらふじ保育園 しらふじお別れ遠足

お別れ遠足で、くまもと動植物園に行きました。いいお天気の中で、お友だちも動物達も元気いっぱい!!子ども達の人気はやっぱりきりとゾウで、呼びかけたり手を振ったりと大喜びする姿が見られました。お弁当の時間もみんなニコニコでした。



済生会ウイズ

ウイズ・ハッピードリームサーカス!

3月15日(土)済生会ウイズ春のレクリエーション活動を行ないました。午前中は、ゆめタウンはませんにて、買い物を楽しみました。午後からは、ハッピードリームサーカスの鑑賞を行ない、普段滅多に見る機会のない空中ブランコやバイクスタントを見ました。利用者、職員みんなで歓声を上げたり、拍手をするなど、初めてサーカス鑑賞をした利用者も多く、とても新鮮で思い出に残る楽しい活動になりました。



済生会かがやき

かがやき春のレクリエーション

3月15日(土)は、かがやきの春のレクリエーションを実施致しました。利用者皆さんと私達職員の日頃の行いが良いのか、天気も快晴に恵まれ!(^^)! 午前に熊本市動植物園・午後からはイオンモール熊本にてハッピードリームサーカスを観賞しました。動植物園では多くの動物や草花を見て心身ともに癒されました。サーカスでは、空中ブランコやカースタントショー等を観賞し、アクロバットでとても迫力があるショーを数多く楽しみ、利用者・職員共に大いに盛り上がりました。皆さん本当に楽しんで頂き、「楽しかった」との声も多く聞くことができ、計画して良かったと心のそこから思いました。利用者皆さんの笑顔をこれからも見る事が出来る様に、更に頑張っていきたいと思ひます。



済生会ほほえみ

ほほえみイチゴ狩り

済生会ほほえみは熊本ホテルエミナースへ、『春のレクリエーション活動:イチゴ狩り』に行ってきました。あいにくの天候でしたが、利用者・ご家族・職員合わせて60名を超える参加となり、大賑わいとなりました。ハウスの中では、いろんな種類のイチゴを食べ比べ、その後はホテルの豪華ランチに舌鼓で、大満足の日でした。



発行所
済生会熊本福祉センター
発行責任者 道端 由美子
編集 地域・広報委員会
熊本市南区内田町3560-1
TEL 096-223-3330
FAX 096-223-3429
http://www.sk-fukushi.jp/